

「琳派四百年 古今展」
— 細見コレクションと京の現代美術作家 —



金魚玉図 神坂雪佳

平成27年 5月23日(土) → 7月12日(日)

Information

主催 ●
細見美術館

入館料 ●
一般 1100円(1000円)
学生 800円(700円)
※()内は20名様以上の団体料金

休館日 ●
毎週月曜日(祝日の場合、翌火曜日)

開館時間 ●
午前10時～午後6時
(入館は、午後5時30分まで)

会場 ●
細見美術館
京都市左京区岡崎最勝寺町6-3
tel. 075-752-5555

日本の文化・芸術を創造し、発信し続けてきた京都。優れた技術と煌めく美意識とが結集する芸術都市として歴史を刻んできた。

二〇一五年は、琳派の祖とされる本阿弥光悦が洛北の鷹峯を拝領してから四百年にあたる。細見美術館では、これを機に「琳派四百年 古今展—細見コレクションと京の現代美術作家—」を開催する。

本展は、「陶」の新たな世界を追求する近藤高弘(一九五八年生まれ)、多義的な表現活動を行う名和晃平(一九七五年生まれ)、独自の「ニッポン画」を展開する山本太郎(一九七四年生まれ)、京都ゆかりの三人の現代美術作家の作品と、作家が選んだ琳派作品をはじめとする細見コレクションとの共演展となる。